

# 第2期守谷市地域福祉活動計画

平成29年度～平成33年度  
(2017年度～2021年度)

もりのあわせ みんなで楽しむ



社会福祉法人 守谷市社会福祉協議会

---

## 第 2 期守谷市地域福祉活動計画

### ●目次

第 1	第 2 期守谷市地域福祉活動計画策定に当たって	1
1	地域福祉活動計画とは	1
2	第 2 期守谷市地域福祉計画との関わり	2
3	計画期間	3
第 2	第 1 期守谷市地域福祉活動計画の振り返り	3
1	地域福祉活動計画実行委員会結成による取組	3
2	第 1 期活動計画の活動内容	3
第 3	基本的な考え方	4
1	基本理念と基本目標	4
第 4	6 地区の第 2 期地域福祉活動計画	6
1	地区の範囲	6
2	各地区別の第 2 期地域福祉活動計画	6
3	各地区の取組	
	○守谷地区	8
	○高野地区	14
	○大野地区	16
	○大井沢地区	23
	○北守谷地区	25
	○みずき野地区	27
第 5	第 1 期活動計画の主な活動	30
1	全体報告会	30
2	各地区の主な活動	31

---

## 1 地域福祉活動計画とは

### (1) 福祉ってなんだろう・・・

「福祉」とは「しあわせ」や「心のゆたかさ」を表し、**みんながあったかい気持ち**になることです。お互いに支え合うことで、自分だけでなく、「**みんなでしあわせ**」を得るということになります。

### (2) 地域福祉ってなんだろう・・・

地域で暮らす高齢者や障がいのある人、子どもという対象別ではなく、住みなれた場所で安心して生き生きと生活するために、市民やさまざまな団体・企業など、多くの支えや福祉の取り組みにより「**みんなでしあわせ**」を築くことです。

### (3) 地域福祉活動計画ってなんだろう・・・

地域福祉活動計画は「**みんなでしあわせ**」を得るために、地域で暮らす人たち一人ひとりが地域でのさまざまな力をひとつにまとめ、地域福祉を担う一員として自分の地域を考え、市民による市民のための「**市民の活動計画**」です。

### (4) 第2期守谷市地域福祉活動計画の策定は・・・

第2期守谷市地域福祉活動計画（以下、第2期活動計画という。）策定に当たっては、地区ごとに組織された「地域福祉活動計画実行委員会（以下、実行委員会という。）」において、前計画の守谷市地域福祉活動計画（以下、第1期活動計画という。）の基本理念と基本目標を継承することとし、これまでの活動状況を踏まえ第2期活動計画で取り組むべき事項を検討し、計画に反映しました。



## 2 第2期守谷市地域福祉計画との関わり

### (1) 第2期守谷市地域福祉計画の概要

第2期守谷市地域福祉計画は、社会福祉法第107条に規定され、地域福祉を推進するための行政計画です。少子高齢化や核家族化及びひとり暮らし世帯の増加などによる複雑多様化する福祉ニーズに対して行政施策のみでは対応することができなくなっていることから、市民と協働で支え合い・助け合う「地域ぐるみの福祉」を推進するための計画です。

第2期守谷市地域福祉計画においても第1期計画の基本理念を継承し、「支え合い・共に育む・福祉夢彩都」、サブタイトルを「絆を大切にすまちな守谷」としています。

基本目標は「地域福祉の推進」で、基本方針を次の4つとしています。

- 基本方針1 支え合い助け合う地域づくり
- 基本方針2 生きがいを感じ健やかに暮らせる地域づくり
- 基本方針3 情報が共有され相談しやすい地域づくり
- 基本方針4 安心して暮らせる地域づくり

### (2) 第2期守谷市地域福祉計画との連携

地域福祉計画は、地域福祉を推進するための「理念」や「仕組み」を作る計画であり、また、地域福祉活動計画は地域福祉計画における「理念」や「仕組み」に基づき、地域福祉を実行するための市民の活動や行動のあり方を示す計画となります。

「みんなであわせ」を実現するための計画として、守谷市が策定する「第2期守谷市地域福祉計画」（行政計画）と市民と社会福祉協議会が協働で策定する「第2期活動計画」（市民計画）があります。

第2期守谷市地域福祉計画の基本方針（1から4）を達成するための施策である「交流する場の創出支援」「地域で活躍するリーダーの発掘・育成」「各種福祉情報の収集及び発信」「見守り体制の形成」などを実現するため、第2期活動計画では、第1期活動計画の4つの基本目標「基本目標1 場づくり」「基本目標2 人づくり」「基本目標3 関係づくり」「基本目標4 生活づくり」を継承し、地区ごとに課題解決のため福祉活動に取り組みます。

このように、両計画は車の両輪であり相互に連携し、協力することが重要となります。

### 3 計画期間

この計画は、行政計画である「第2期守谷市地域福祉計画」の計画期間に合わせて、平成29年度から平成33年度（2017年度から2021年度）までの5年間とします。

## 第2 第1期守谷市地域福祉活動計画の振り返り

### 1 地域福祉活動計画実行委員会結成による取組

第1期活動計画の取組みとして、活動するための実行委員会の組織づくりを平成24年度から始めました。その結果、平成25年度に6地区（第4の1地区の範囲参照）に実行委員会が組織されました。

各地区の実行委員会では、地区ごとの「基本理念」と「活動のモットー」に基づき、課題解決に向けて取り組んできました。この取組成果について、平成28年2月に中央公民館において、多くの市民に参加をいただき6地区の代表者報告会を開催しました。

この実行委員会が組織されたことで、リーダーや担い手のある程度は確保できました。

しかしながら、まだまだ足りない現状であることや後継者が必要であることからリーダーの育成と担い手の確保が必要になっています。

### 2 第1期活動計画の活動内容

第1期活動計画に基づく活動は、あいさつ運動やお祭り、あわんとり、子どもの見守り活動、福祉協力員等による高齢者の見守り、地域の交流の場づくりなどに取り組みました。

また、地域の情報や地域福祉活動を周知するため、地域の情報誌の発行に取り組んでいる地区もあります。

これらの活動により少しずつではありますが、地域における人と人のつながりや絆を深めることができました。

なお、地区ごとの主な活動については、「第5 第1期活動計画の主な活動」に掲載します。

## 第3 基本的な考え方

### 1 基本理念と基本目標

第1期活動計画では、基本理念である「もりやのしあわせ みんなで築こう」を基本理念とし、また、基本理念を実現するために4つの基本目標を定め、「みんなでしあわせ」を実現するために取り組んできました。

その結果、少しずつではありますが地域の絆や関係づくりが進んでいます。

第2期活動計画では、更に地域の絆を深め、第1期活動計画の「もりやのしあわせ みんなで築こう」を実現するために、第1期活動計画の基本理念と基本目標を継承し、「みんなでしあわせ」を実現するために取り組みます。

#### (1) 基本理念

人は誰でも、自分の生活や健康などについて、悩みや不安を抱えて生きています。自分だけで解決することができずにつらい時もあります。その解決のためには、誰かの支えが必要となる場合もあり、そんな時こそ人と人とが支え合いや助け合うことで、私たちはぬくもりを感じ安心して暮らすことができるのではないのでしょうか。

この計画は、市民の取組（活動）をすすめるための「手引き」となります。この市民の取組（活動）が広がることで「もりやのしあわせをみんなで築く」ことになります。

このため、この計画の基本理念を次のとおりとします。

**「もりやのしあわせ みんなで築こう」**

#### (2) 基本目標

基本理念を実現するために、4つの基本目標を定めました。

## ○基本目標1 場づくり

### 地域の結びつきを強める交流の場づくり

地域で市民主体による助け合いをすすめるため、支部社会福祉協議会や関係機関・団体に対する拠点づくりを支援し、気軽に集まる場所などの交流の場づくりをすすめます。

## ○基本目標2 人づくり

### 地域みんなで支え合える担い手づくり

より多くの人たちが自分たちの住む地域に関わりを持ち、安心して住み続けるまちにするために、地域でリーダーとなる人材の発掘・育成を行い、市民互助による地域活動の普及を図ります。

## ○基本目標3 関係づくり

### 地域で安心して暮らす、相談・情報の発信・拠点づくり

福祉を身近な問題として考えるための情報を発信し、市民が地域の福祉に目を向けるきっかけや、気軽に相談できる関係をつくります。

## ○基本目標4 生活づくり

### 住みなれた地域で暮らす支え合いの地域づくり

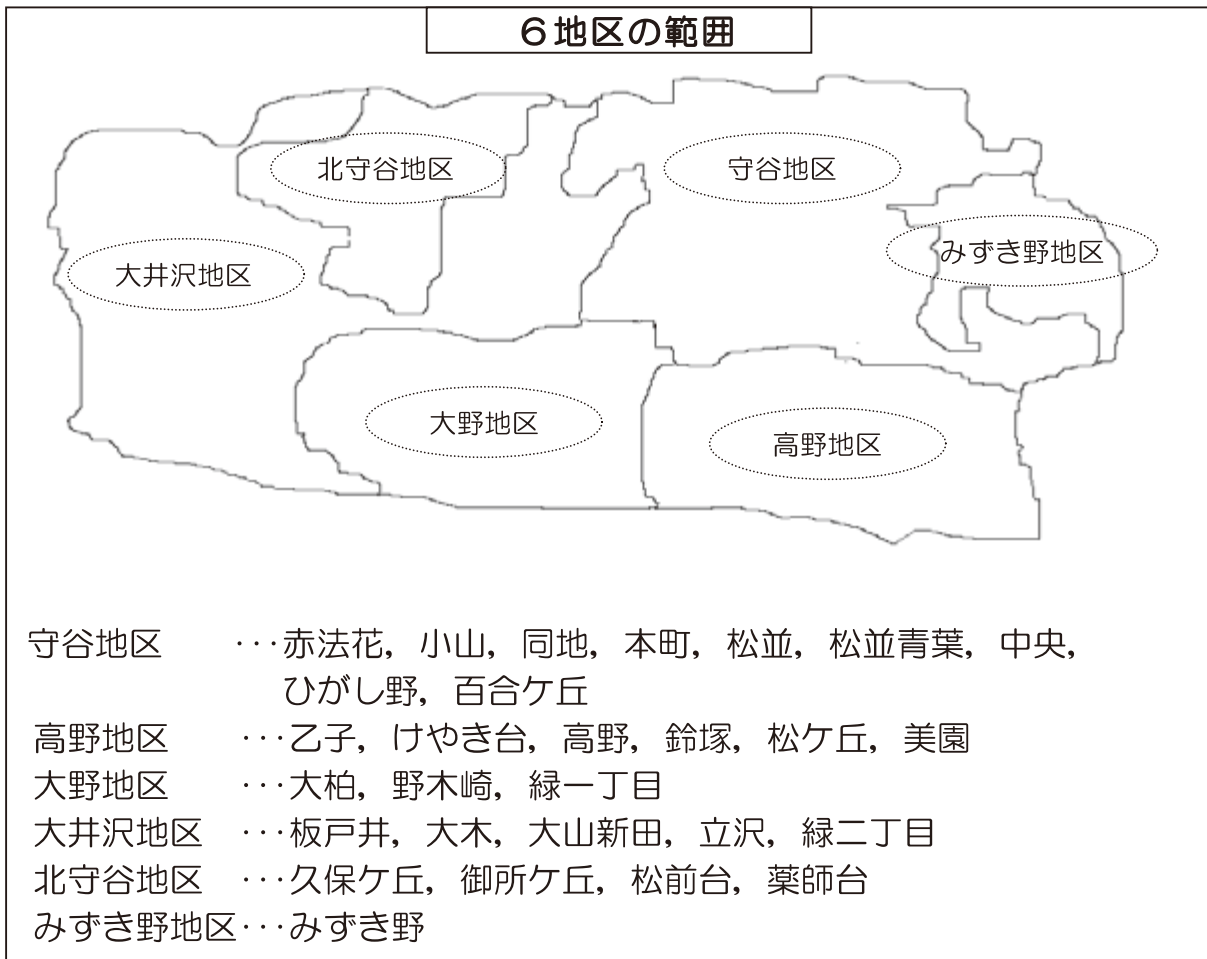
地域において、隣近所の見守り活動などを通じて、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりを目指し、地域に住む人たちが積極的に関わりあえるよう支援します。



## 第4

# 6地区の第2期地域福祉活動計画

## 1 地区の範囲



上記の6つの地区は、守谷市社会福祉協議会支部と同じ地域になっていることから、今後も連携して取り組んでいきます。

## 2 各地区別の第2期地域福祉活動計画

計画を具体的に実践するためには、小地域での福祉活動が不可欠と考え、6地区の地域福祉活動計画実行委員会において、第1期活動計画の実績及び特性等を踏まえて計画を策定しました。また、守谷地区、大野地区、大井沢地区は、更に地域を分けた計画も策定しました。

なお、各地区とも「基本理念」と「活動のモットー」は、第1期活動計画を継承しています。



各地区の取組



◆守谷地区 第2期活動計画

基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
<p>住み慣れた地域で 安心して住めるよう お互い支え合おう</p>	<p>活動の始まりはあいさつから</p>	<p>市民がより多く参加する機会をつくります。</p>	<p>集まる機会や場所が少なくなっています。 地域間の交流が少なくなっています。 町内会加入率が低くなっています。 町内でのお付き合いが広がりにくいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつから始めて、きっかけ作りをします。</li> <li>・世代・地域間交流が出来るようなイベントを多く企画し開催します。</li> </ul>
		<p>地域で活動できる人材を発掘します。</p>	<p>リーダーが少なく育ちにくいです。 地域活動への協力者が少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通じて参加者を募ります。</li> <li>・協力依頼の声掛けを積極的にします。</li> <li>・役員経験者が地域で活動するしくみを作ります。</li> </ul>
		<p>市民同士の関わりや意識の向上を図ります。</p>	<p>近所の関わりや地域への関心が薄れてきています。 交流するための場所が少ないです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いこいの場拡大を図ります。</li> <li>・ボランティア・サークル設立と活動を応援します。</li> <li>・ご近所同士の声掛け合いを促進します。</li> </ul>
		<p>地域にあった情報発信を行います。</p>	<p>地域行事に参加する人が減っています。 若い世代の転入者が多くなっています。 地域行事の周知が難しいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報の発信方法を検討します。</li> <li>・団体間で連携し情報を共有します。</li> <li>・地域情報誌を発行します。</li> </ul>

## ◆守谷地区別の課題への取組

### Aブロック (本町・小山)

地区活動目標	課 題	対 応 策
市民がより多く参加する機会をつくることで、市民同士の関わりや意識の向上を図ります。	集まれる場所・機会が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等を開催し多くの人に参加する機会を作ります。</li> <li>・公民館（集会所）等の有効活用方法を検討し提案します。</li> </ul>
地域で活動できる人材を発掘します。	リーダーが少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動に対する周知活動</li> <li>・活動を通じて参加者を募ります。</li> <li>・協力依頼の声掛けをします。</li> </ul>
地域にあった情報発信を行います。	地域行事に参加する人が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で情報を共有し、地域行事の参加を呼びかけます。</li> <li>・地域情報の発信方法を検討します。</li> </ul>



※ A～Eの5つのブロックに分かれて活動しています。

※地区によっては、分かれるブロックがあります。

## Bブロック（百合ヶ丘・中央・立沢・松並・松並青葉）

地区活動目標	課 題	対 応 策
市民がより多く参加する機会をつくります。	町内会・自治会の加入率が低くなってきています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ運動」を継続し活動へのきっかけを作ります。</li> <li>・ブロック内の自治会の行事（お祭り・防災訓練等）に相互に積極的に参加します。</li> <li>・ブロック内の自治会相互の交流を深めます。</li> </ul>
地域で活動できる人材を発掘します。	リーダーが育ちにくいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会のクラブ活動のリーダー、子供会役員、お祭り等の実行委員より選出、後継者を養成します。</li> </ul>
市民同士の関わりや意識の向上を図ります。	交流するための集まれる場所が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会館の利用状況を把握します。</li> <li>・自治会館の利用を拡大し、クラブ活動をより活発になるよう検討します。</li> </ul>
地域にあった情報発信を行います。	地域行事に参加する人が減っています。転入者が多くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ささえ合う街もりや」の広報発行</li> <li>・各自治会独自の広報・回覧等の現状を知り活用方法を検討します。</li> </ul>

## Cブロック (百合ヶ丘・中央)

地区活動目標	課 題	対 応 策
市民がより多く参加する機会をつくれます。	地域間の交流が少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異世代で集まれる機会を多く作ります。</li> <li>・町内会加入への啓発活動を行います。</li> </ul>
	地域活動への協力者が少なくなってきました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力いただける方への声掛けを積極的に行います。</li> </ul>
市民同士の関わりや意識の向上を図ります。	隣近所の関わり合いが少なくなってきました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を継続して行います。</li> <li>・ご近所同士の声かけ合いを促進します。</li> </ul>
	地域への関心が薄れてきています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で情報を発信し、地域情報を共有し地域行事への参加を呼びかけます。</li> </ul>



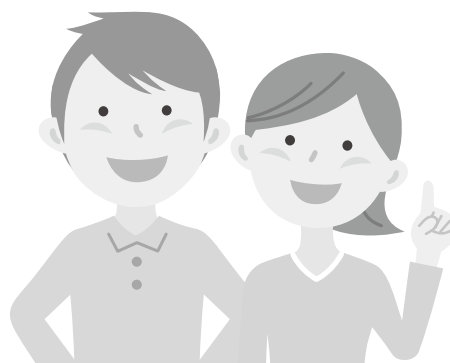
## Dブロック（ひがし野・中央）

地区活動目標	課 題	対 応 策
市民がより多く参加する機会をつくります。	町内でのお付き合いが拡がりにくいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつから始めて、きっかけ作りをします。</li> </ul>
市民同士の関わりや意識の向上を図ります。	交流するための集まれる場所が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いこいの場「わくわく亭」拡大を図ります。</li> <li>・開催回数の増加、高齢者参加の増加、地域への浸透</li> <li>・ボランティアやサークルの新規立ち上げと活動をバックアップします。</li> </ul>
地域にあった情報発信を行います。	若い世代の転入者が多いです。地域行事の周知が難しいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体間での連携と情報共有を目的に地域内団体間で連絡会議を行います。</li> </ul>



## Eブロック (本町・中央・同地・赤法花)

地区活動目標	課 題	対 応 策
市民がより多く参加する機会をつくれます。	新旧住民、世代間の交流が少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世代を超えた交流や集まるイベントを企画し開催します。</li> <li>・ 地域の人材を活用し勉強会・講演会を企画します。</li> <li>・ 組合・班体制等の既存の組織の連携が必要です。</li> <li>・ あいさつ運動を継続し、参加者を増やします。</li> <li>・ あいさつ運動看板下を有効利用し、「いこいの場」を作ります。</li> </ul>
市民同士の関わりや意識の向上を図ります。	地域福祉活動への関心が薄くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織設立へ向けて活動を促進します。</li> <li>・ 防災活動を通じて地域活動への意識を高め地域間で助け合いの気持ちを育てます。</li> <li>・ ご近所への声掛けを心がけます。</li> </ul>
地域にあった情報発信を行います。	地域行事に参加する人が少なくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域情報誌を発行します。</li> <li>・ 地域行事への参加を呼びかけます。</li> </ul>



◆高野地区 第2期活動計画

基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
<p>人と人との、絆、 あたたかい地域</p>	<p>地域のつながり 絆づくりを目指して</p>	<p>時代に適した地域親戚付き合いを取り入れます。</p>	<p>高齢者のひとり暮らしが増えています。日常生活の中で、何かあった時、誰に相談して良いかわかりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会の班体制を基に‘向こう三軒両隣’の見守り体制を拡充します。</li> <li>あいさつ・声掛け運動を推進し、「顔の見える」近所付き合いをすすめます。</li> <li>地域ごとに‘支援者’を明確にするようにします。</li> </ul>
		<p>住み慣れた自宅で安心して暮らすためのルールをつくります。</p>	<p>日常の見守りや、非常時の対応に不安があります。児童通学時の事故が心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市や自主防災防犯組織と町内会の連携を強化し、地域の安全マップ作りに取り組みます。</li> <li>災害時要援護者への対応を、地域ごとの仕組みづくりに取り組み、防災訓練等で訓練をします。</li> <li>小学校通学路の見守りマップを作成し、地域で子どもの安全を守ります。</li> </ul>
		<p>自分ができることを見つけて、活動の場で生かせる機会をつくりま</p>	<p>歩いていける範囲に自由に出入りでき、常に話し相手がいるような場所が欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域敬老会を検討します。地域の特性を生かし、高齢者の要望に沿った敬老会を実施・検討します。</li> <li>出前サロンの増設プランを支援します。出前サロンのPRを強化し、参加者を増やします。</li> <li>活動する市民が集まれる場所(たまり場)を増やします。</li> </ul>
		<p>地区全体で支援センターの機能が果たせるようなネットワークづくりを目指します。</p>	<p>地区リーダーの確保が必要です。リーダーへ、活動を支援する仕組みが欲しい。活動への認知・PRが不足しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の人材活用・新たな人材の確保に努めます。</li> <li>講座、体験学習等を強化し、知識と経験を持ったリーダーの育成をします。</li> <li>地域広報誌を作成し情報の共有化とネットワークの拡充を図ります。</li> <li>子どもヘルパー事業を継続し、地域の子どもたちに福祉に対する理解を深めます。</li> </ul>



## 高野地区では、課題解決に向け、チームに分かれ取り組みます

チーム名	課題	実行項目
サロンチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のひとり暮らしが増えています。</li> <li>・日常生活の中で、何かあった時、誰に相談して良いかわかりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守り活動の具体策、提言を作成し、高齢者が安心して生活できる環境づくりを推進する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>→実行委員自らが、課題抽出のための勉強会を開催する。</li> <li>→高齢者を取り巻く課題を抽出し、関連各署（各区長、サロン運営者、行政、民生委員等）との連携を図る。</li> <li>→課題に対し、具体的な対応策を見出す。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いていける範囲に自由に出入りでき、常に話し相手がいるような場所が欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン訪問等での現状の課題を把握し、課題解決に向けての提言を作成する。</li> <li>・各地区のサロン特性を生かした、合同発表会的なイベント企画の可能性を探る。</li> </ul>
見守りチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の見守りや、非常時の対応に不安があります。</li> <li>・児童通学時の事故が心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別に「安全マップ」作りを推進し、要援護者に対する支援体制を強化する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>→要援護者の把握、援護ニーズを把握し現実に即した援助活動の仕組みづくり</li> <li>→自治会、自主防災組織とも連携し、地区全体のレベル標準化を目指す</li> </ul> </li> <li>・高野小学校の見守りマップの成果を検証し、松ヶ丘小学校のマップづくりに取り組む</li> </ul>
ネットワークチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区リーダーの確保が必要です。</li> <li>・リーダーへ、活動を支援する仕組みが欲しい。</li> <li>・活動への認知・PRが不足しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成、人材確保のための研修・講座の開催を継続する。</li> <li>・子どもヘルパー事業を継続し、高野地区の目玉事業としていく。</li> <li>・実行委員の新規メンバーの開拓を進める。</li> <li>・地域活動計画を、各地域自治会・町内会にアピールし、連携を強化する。</li> <li>・ボランティア活動（きずなカード）の利用促進、活動場所のPR、募集ニーズを把握し積極的なPRを行う。</li> <li>・地域広報誌「きずな」を年4回発行し、地区のコミュニケーションツールとして情報の共有化を図る。</li> </ul>
敬老行事プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異世代交流の場づくりをすすめます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政から敬老会の方向性が出た後、地域での対応策を検討する。</li> <li>・参加型イベント（例えば、歌声喫茶、スマホ勉強会など）を開催し、楽しい‘たまり場づくり’を推進する。</li> </ul>

◆大野地区 第2期活動計画

基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
残そうよ！ 大野の自然と地域の絆を次世代へ	明るいあいさつ 楽しい活動 老若男女 地域の絆 〜こんにちはから ありがとう〜	助け合う・支え合う地域の絆を強くします。	区長が1年で交代してしまいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区長を複数年やってもらえるような制度づくりを地域の方に提案していきます。</li> </ul>
		市民がそれぞれの役割を持ち、個々の力を発揮できる機会をつくれます。	近所付き合いが薄れてきています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>近所付き合いのきっかけとなるよう、シニアクラブの立ち上げを目指します。</li> <li>子ども達、近所の方に声をかけをし、イベントを開催します。</li> </ul>
		安全に暮らせる地域を目指します。	子どもの通学における安全面が心配です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から声かけやあいさつを心がけ、見守り体制を整えます。</li> <li>犬の散歩等を「見守り隊」など文字の書かれたタスキをかけ、下校時間に合わせ行ってもらえるよう、声かけを行っていきます。</li> </ul>
		子どもの育成を応援します。	子どもと関わる機会が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人が積極的に学校行事へ参加できるよう地域の方と学校に提案していきます。</li> </ul>

## ◆大野地区別の課題への取り組み

### 大柏地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
助け合う・支え合う地域の絆を強くします。	婦人会、老人会への加入率が低下しています。近所付き合いが薄れてきています。	老人会が消滅しているため、新たに復活させる方策として多くの人に声かけを行います。組織への参加者を増やし情報を共有します。
市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくれます。	個人の能力を生かせる機会が不足しています。	個人の特技が活かせる機会づくりを行い、活動や行事等を通して市民の交流を図ります。
安全に暮らせる地域を目指します。	見知らぬ人の通行が多くなっているため、空き巣や不審者等が心配です。	見知らぬ人を見かけても知らないふりをせず、声をかけるようにします。防災訓練の参加者が増えるよう、呼びかけを工夫します。
子どもの育成を応援します。	少し家の離れた子どもはどこの家に住んでいる子か分からないことが多くなっています。	登下校時にできるだけ声かけをして、子どもの顔と名前を覚えるよう地域で取り組み、子どもを預けたり預かったりできる環境を整えていきます。

## 下ヶ戸地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
助け合う・支え合う地域の絆を強くします。	世代間交流や後継者育成が必要です。	地域で世代間交流イベントを行うとともに人材の発掘・育成に努めます。
市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくれます。	町内会活動が特定の人に限定されています。	これまで活動できなかった人にも積極的に声かけを行って誘い、出やすい環境を作っていきます。
安全に暮らせる地域を目指します。	防犯・防災を標榜する、町内会行事に参加しない人がいます。	アンケートを実施し、広く意見を聞くとともに、パトロールや登下校時の見守りのほか、空地や通学路の除草等を行っていきます。
子どもたちの育成を応援します。	広場や公園が地域になく子ども達は道路で遊んでいます。	空地の整備や道路を開放するなどして、遊び場とします。 町内会館を常時開放に努力します。



## 新山地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
助け合う・支え合う地域の絆を強くします。	区長が1年で交代してしまう。 区長に代わって活動できる人が必要です。	地区のリーダーを支える仕組みを作ります。 ふれあい祭りの実行委員会などのいままである組織を活用し、新たな組織を作ります。 自主防災組織を立ち上げていきます。
市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくれます。	近所付き合いが薄れてきています。	地域の行事に積極的に参加するように声かけします。 あいさつ運動を行います（声かけや看板の設置など）。 地域で世代を超えた参加を呼びかけます（夏まつりや空きかん拾いなど）。
安全に暮らせる地域を目指します。	荒地が目立つ場所があります。	地域環境保全活動に取り組みます。
子どもの育成を応援します。	子どもの遊び場が不足しています。	神社、お寺、遊休地などを遊び場として活用します。



## 向崎地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
助け合う・支え合う地域の絆を強くします。	自主防災組織を立ち上げることができていません。 正安寺花祭りの参加者が少ないです。	区長、協力員、関係機関等が協力し活動します。 地域に呼びかけを行い、自主防災組織の立ち上げを目指します。
市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくれます。	近所付き合いが不足しています。	輪投げの練習や花祭りを利用して会合を開き、地域の意見を常に聞けるようにします。
安全に暮らせる地域を目指します。	工事や枝切り、草刈り等で道路が狭くなり危険を感じる時があります。	集落センター、環境美化の日の清掃等を回覧するだけでなく、各戸にも配布することで参加者の増加や注意を促します。
子どもの育成を応援します。	子どもが外で遊ぶ機会が少なくなっています。	子ども会等と話し合いを行い、子どもが外で遊べる環境、機会を作ります。

## 中坪地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
<p>助け合う・支え合う地域の絆を強くします。</p>	<p>区長が1年で交代してしまう。 区長に代わって活動できる人が必要です。 地区内の合意を得る機会が少ないです。</p>	<p>世代間交流・人との結びつきを強めます。 みんなが喜ぶ居場所作りを行います。 地区住民の合意を得る機会を作ります。</p>
<p>市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくれます。</p>	<p>近所付き合いが薄れてきています。 リーダーが固定されており、役員・委員の引き受け手がいません。</p>	<p>参加して個々の居場所が持てる機会作りを進めます。 地域福祉活動計画委員を増やします。</p>
<p>安全に暮らせる地域を目指します。</p>	<p>子どもの通学路で危険な場所があります。</p>	<p>通学時の交通安全対策を考えます。 防犯対策を実施します。 通学時の見守りを行います。</p>
<p>子どもの育成を応援します。</p>	<p>子どもの遊び場が不足しています。</p>	<p>イベントを開催し、参加を呼びかけます。 声かけ運動を行います。</p>

## 上坪地区

地区活動目標	課 題	対 応 策
<p>助け合う・支え合う地域の絆を強くします。</p>	<p>区長が1年で交代するため、発展的活動が難しくなっています。老々世帯が多くなり持ちまわり区長が難しくなっています。</p>	<p>定年期を迎えた方を地域内で推薦し、複数年区長を依頼します。</p>
<p>市民がそれぞれの役割を持ち個々の力を発揮できる機会をつくります。</p>	<p>近所付き合いが薄れ、一部のみに地域活動を頼っています。</p>	<p>地域内の人々の特技・趣味等の情報を収集し、地域活動の内容によって協力・指導依頼をすることで人材発掘を行います。</p>
<p>安全に暮らせる地域を目指します。</p>	<p>世帯の把握ができていません。災害時における対応が心配です。</p>	<p>世帯を把握できるよう、日頃から地域の高齢者世帯、日中独居世帯等に声かけを行います。</p>
<p>子どもの育成を応援します。</p>	<p>子ども会員数が少ないため行事の際に役員の負担が大きくなっています。</p>	<p>子ども会育成会におじいちゃん、おばあちゃんにも協力員として入会してもらえよう呼びかけを行います。</p>



◆大井沢地区 第2期活動計画

基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家族の絆が地域の絆につながる</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家族 地域の絆の大切さ 大事さを次世代に伝えよう</p>	<p>地域での行事に参加します。</p>	<p>地域福祉活動に取り組み、地域の行事に参加者が集まっていますが、参加しない住民も見受けられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に関心を持ちます。</li> <li>・出会った人にあいさつをします。</li> <li>・地域行事に参加する時には、近所同士で声かけを行い、さらに参加者数の向上を目指します。</li> </ul>
		<p>家族や地域住民の絆を強めるような交流機会をつくれます。</p>	<p>世代間の交流が少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あわんとりや地域の祭り等の地域行事を継続します。</li> <li>・誰でも気軽に参加できる行事内容を計画し、開催します。</li> <li>・企画にあたっては、行事日程を参加しやすく設定し、早いうちに周知します。</li> </ul>
		<p>地域の中で防災組織をつくれます。</p>	<p>自治消防団員の加入者が減少しています。 災害時の初期対応が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治消防団員が活動しやすいように、活動を理解し支援します。</li> <li>・地域で自主防災組織を結成するように努めます。</li> <li>・消防団員 OB が団員勧誘に協力します。</li> </ul>
		<p>安心して安全に暮らし続けられる地域をつくれます。</p>	<p>地域のリーダーの後継者確保が困難です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年後の世代など多くの人々に働きかけ、リーダーや担い手を育成・確保します。</li> </ul>

大井沢地区では、課題解決に向け、地域に分かれ取り組みます。

地区活動目標	課 題	実行項目
<p>地域での行事に参加します。</p>	<p>地域福祉活動に取り組み、地域の行事に参加者が集まっていますが、参加しない住民も見受けられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立沢秋まつり（立沢地区）</li> <li>・東板戸井ふれあいまつり（東板戸井地区）</li> </ul>
<p>家族や地域住民の絆を強めるような交流機会をつくれます。</p>	<p>世代間の交流が少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あわんとりの開催（西板戸井地区・大山新田地区）</li> <li>・区対抗ジャンケン大会（西板戸井地区）</li> <li>・ラジオ体操交流（大山新田地区）</li> </ul>
<p>地域の中で防災組織をつくります。</p>	<p>自治消防団員の加入者が減少しています。災害時の初期対応が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し、防災訓練（大木地区・西板戸井・大山新田）</li> </ul>
<p>安心して安全に暮らし続けられる地域をつくります。</p>	<p>地域のリーダーの後継者確保が困難です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動、推進看板設置（東板戸井地区・大山新田地区）</li> </ul>



◆北守谷地区 第2期活動計画

基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
地域・世代を超えた交流の輪（和）	きっかけ創りを楽しもう		身近なところに交流する場所が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所、小学校などの有効活用を図ります。</li> <li>・身近な集まれる場所を見つけて交流します。</li> <li>・北守谷の特徴である遊歩道を活用するイベントを開催します。</li> <li>・広報を強化し、現在ある集まれる居場所を周知します。</li> </ul>
		誰もが住みやすい地域でずっと住み続けたいと思える地域にします。	人と人のつながりが薄くなってきています。障がい者・高齢者などとの交流する環境が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北守谷まつりを積極的に活用していきます。</li> <li>・小さな集まりを増やし、身近な活動から始めます。</li> <li>・あいさつ・声かけ運動をします。</li> <li>・身近な人に関心を持ち、理解し活動をします。</li> <li>・高齢者の親睦と広域組織の設立を働きかけます。</li> <li>・世代間や障がい、高齢についての交流へのきっかけづくりを推進します。</li> <li>・若い世代が集まるような魅力あるまちづくりを推進します。</li> </ul>
		地域で活動するきっかけをつくり、地域で支え合うシステムを構築します。	地域としての福祉向上のシステムをつくる必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の好事例を集めます。</li> <li>・計画の進行状況を確認しながら、実行・見直しをしていきます。</li> <li>・地域福祉活動員（協力員）体制を作ります。</li> <li>・現在の助け合い組織を周知するとともに拡大を図ります。</li> <li>・自治会（町内会）等との情報を共有し、連携を強化します。</li> </ul>
			地域で活動している市民やボランティア団体との連携が少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内ボランティア組織の調査と支援を行い連携を強化します。</li> </ul>

北守谷地区では、課題解決に向け、部会に分かれ取り組みます。

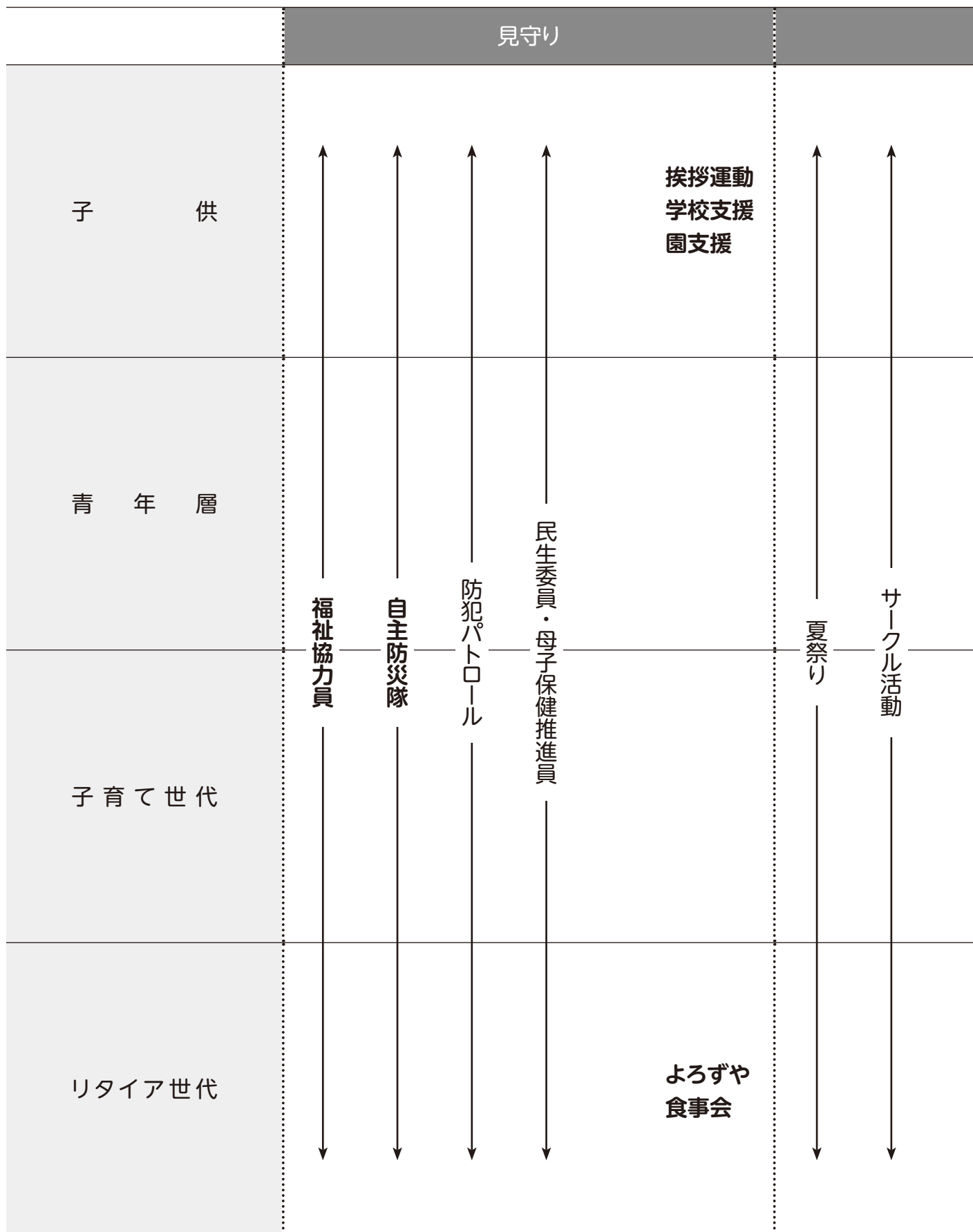
部会名	課題	実行項目
どこでも茶屋 ぶらぶら亭部会	身近なところに 交流する場所が 少ないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流する場所として、北守谷地区内公園で『北守谷遊歩道どこでも茶屋ぶらぶら亭』を春秋シリーズ開催</li> <li>・開催地点の拡大、共催イベント等を検討</li> </ul>
協力員制度部会	地域としての福 祉向上のシステ ムをつくる事が 必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北守谷地区での情報収集と情報共有としてアンケート等を実施し、地域の福祉向上システムづくりを検討</li> <li>・御所ヶ丘5丁目『助け愛の会』では住民同士の助け合い組織が活動</li> </ul>
広報部会	地域としての福 祉向上のシステ ムをつくる事が 必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北守谷地区住民に向けて、地域情報や福祉情報を発信</li> <li>・地域福祉活動計画について、地域で活動しているボランティア等のPR</li> </ul>
福祉グラウンド ゴルフ部会	人と人のつなが りが薄くなってき ています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北守谷地区内公園にて、グラウンドゴルフを開催し、初心者でも輪に入りやすいようにグラウンドゴルフ用品を貸出</li> <li>・高齢者や子どもが気軽に集まれるきっかけづくりとして体験プレーを開催</li> <li>・開催日や時間、開催回数等を検討</li> </ul>
異世代交流部会	地域で活動して いる市民やボラ ンティア団体との 連携が少ないで す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異世代交流ボランティアサークル「守谷おもちゃ病院」のメンバーが、北守谷地区内児童センターや小学校児童へおもちゃの作成等指導支援</li> <li>・児童センター、小学校等へ協力しながら活動、活動内容等検討支援</li> </ul>

※各課題を実行委員会で検討し、新しい部会を設けて活動していく予定

◆みずき野地区 第2期活動計画

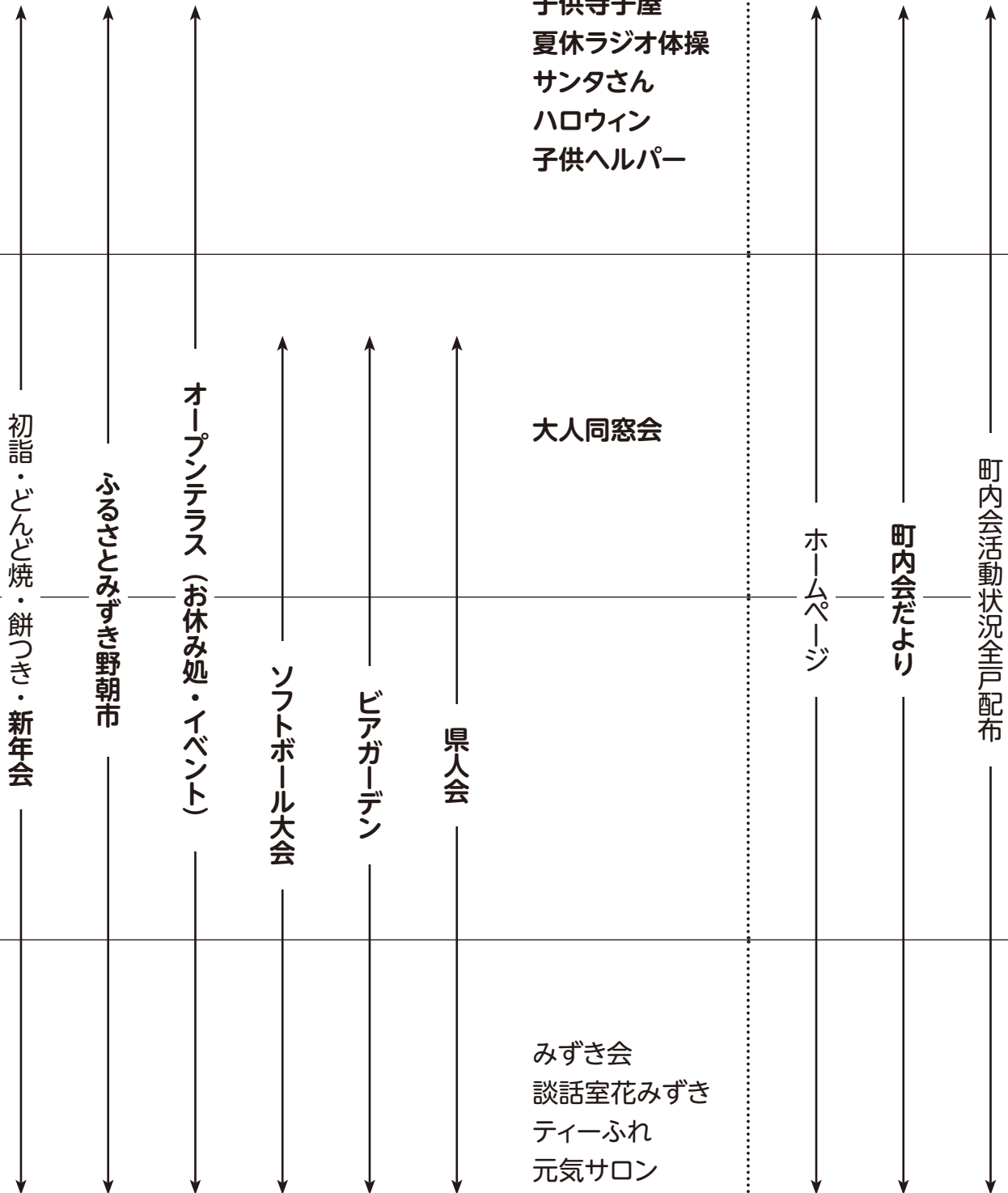
基本理念	活動の モットー	地区活動目標	課 題	対 応 策
<p>自然環境を大切に 誰もが安全で安心な 暮らしができる</p>	<p>住民が協調して活動する</p>	<p>高齢やひとり暮らしになっても、自宅で安心して生活できる地域を目指します。</p>	<p>ご近所意識が希薄化しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や各種団体が連携協力出来る連絡網の整備をします。</li> <li>・あいさつ・声かけをすすめます。</li> <li>・向こう三軒両隣の交流をすすめます。</li> </ul>
		<p>お互いが支え合える地域を目指します。</p>	<p>地域全体が高齢化に向かっていきます。 高齢者世帯やひとり暮らし世帯が増加しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ネットワーク及び要援護者支援組織をつくりまします。</li> <li>・現状にあうよう防犯・防災組織を具体的に再検討します。</li> <li>・生涯学習をすすめます。</li> </ul>
		<p>個々の能力を生かして、元気に暮らせる地域づくりをおこないます。</p>	<p>居場所や交流する場所が少ないです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの場の活用をすすめます（集会所、元気サロン、公民館など）。</li> </ul>
		<p>安全に安心して暮らせる地域と思えるまちづくりをします。</p>	<p>地域で若い世代が少なくなっています。 子どもの数も少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で安心して子育てができる環境づくりをすすめます。</li> <li>・地域福祉推進リーダーを養成します。</li> <li>・地域ぐるみで子育てを支援します。</li> <li>・通学の安全を確保します。</li> </ul>
		<p>生活の不便さを解消します。</p>	<p>商業施設が近くにない買い物するのが不便です。 交通の便が悪く外出がしにくい人がいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声をかけあい、買い物の集団購入をすすめて買物弱者を解消します。</li> <li>・地域間交流バスの利用を活性化し、交通手段を充実します。</li> </ul>

# みずき野地区地域福祉活動の主な活動



ふれあい・交流

広報

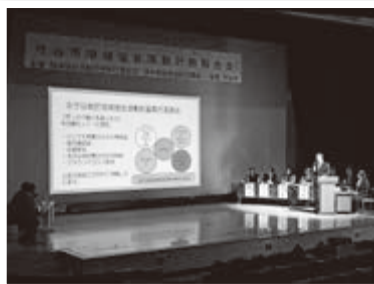


注：太字は3～4年前から始まったもの

第5

第1期活動計画の主な活動

守谷市地域福祉活動計画全体報告会



報告会は、平成24年度から各地区で取り組んできた実践を踏まえ、見えてきた課題についてアドバイザーから助言を受け、第2期に向けたステップとなる報告会となった。





## 守谷地区の主な活動



守谷地区・全ブロックでのあいさつ運動



むかしあそび



シニアのつどい

各ブロックでの  
さまざまな  
異世代交流事業



わくわく亭



花壇の花植え



防災訓練や新たな取り組みへの話し合い



地域情報誌

## 高野地区の主な活動

### サロンチーム



地区内サロン代表者話し合いや地区敬老会アンケート調査実施

### 見守りチーム



防犯啓発や子どもたちの見守りマップ配布

### ネットワークチーム



さまざまな異世代交流や体験の子どもヘルパー事業



健康や介護をテーマにしたボランティア講座

地域情報誌「きずな」発行

## 大野地区の主な活動



大野地域ふくしま祭り



地区内で  
防犯・防災意識を  
高める取組み



地域の自然を生かした彼岸花とかかしま祭り

## 大井沢地区の主な活動



大山新田地区・東板戸井地区のあいさつ運動



立沢秋まつり



大木炊き出し・防災訓練

各地区での  
さまざまな  
異世代交流事業



大山新田あわんどり



東板戸井ふれあいまつり



西板戸井区対抗ジャンケン大会

## 北守谷地区の主な活動

どもでも茶屋  
ぶらぶら亭部会



地域交流の場（大山公園・立沢公園）



異世代交流部会

守谷おもちゃ病院が中心になり異世代交流

福祉グラウンド  
ゴルフ部会



健康と交流の場

御所ヶ丘5丁目助け愛部会



町内会でのお互いさま活動

広報部会



地域情報誌発行

みずき野地区の主な活動



お花見会



ふるさとみずき野朝市



夏まつり



自主防災隊



ふれあいピアガーデン

みずき野町内会や  
関係団体・機関などと  
連携・協力して  
活動しています!



初詣



ウォーキング大会



みずき野寺子屋



大人同窓会



げんきサロン



高齢者食事交流会



みずき野子どもヘルパー



市民のみなさまとともに  
守谷市社会福祉協議会もがんばります

守谷市地域福祉活動計画

発行 平成29年3月  
社会福祉法人 守谷市社会福祉協議会  
〒302-0116 茨城県守谷市大柏954-3  
いきいきプラザ・げんき館内  
TEL 0297-45-0088 FAX 0297-48-5554  
E-Mail shakyo.moriya.954-3@ace.ocn.ne.jp